

あなたの意見をお聞かせください!

～那覇空港の総合的な調査について～



那覇空港は、旅客の増加に伴い、夏場や年末年始のピーク時に希望する便が予約できないなどの支障が生じており、施設の拡充整備が重要な課題となっています。
このため、国と県では、那覇空港の今後の整備のあり方についてパブリック・インボルブメント（P-I）の手法を取り入れ、皆さんのご意見を伺いながら調査、検討を進めています。

パブリック・インボルブメント（P-I）

※政策決定や公共事業の計画策定において、国民や地域住民が意見を表明できる場を設け、寄せられた意見を計画に反映するものです。

【Public Involvement】

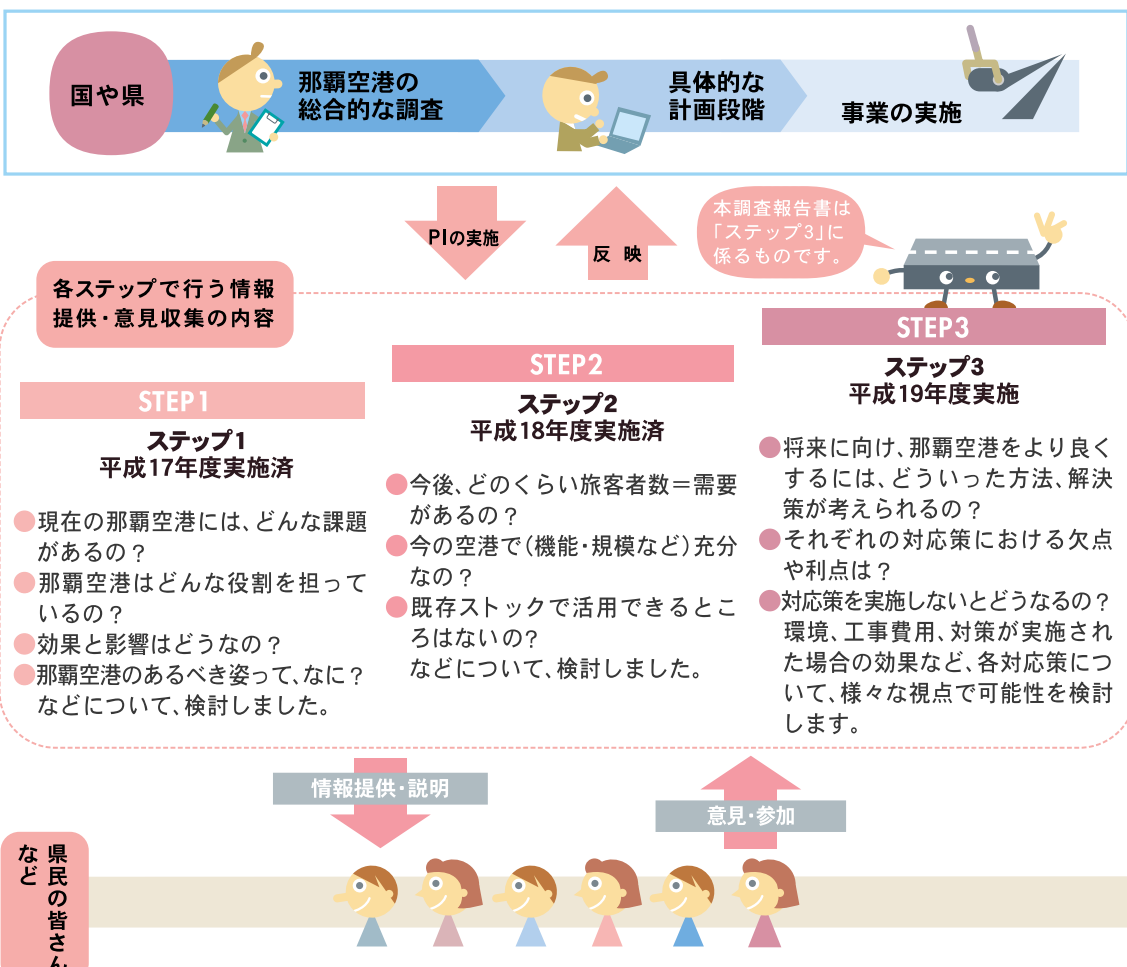
これまでの経緯

那覇空港の総合的な調査に伴うP-Iは、調査の進み具合に合わせて三つのステップに分かれています。今年度はP-Iの最終段階にあたるステップ3で皆さんのご意見を伺います。

昨年度までに実施した、ステップ1、2の概要は次のとおりです。

●**ステップ1**（平成十七年度実施）
那覇空港の現状、課題、将来像などについての情報提供や意見収集。

各ステップで行う情報提供・意見収集の内容



（調査結果）

ステップでは、利用者の視点から那覇空港の利用状況や課題を整理しました。

航空機の発着回数は、滑走路が一本の空港の中では国内二位と利用度が高く、
○ピーク時に希望便の予約が取りにくい

○昼間の特定の時間帯に便が集中するため航空機が渋滞し、離発着に遅れが生じている
など、滑走路が一本しかないためにさまざまな問題があることも分かりました。

また、国際線旅客ターミナルビルや貨物ターミナルの機能向上も課題とされました。

●**ステップ2**（平成十八年度実施）
将来の航空需要予測や空港能力の見極めなどについての情報提供や意見収集。

（調査結果）
ステップ2では、那覇空港の航空旅客数や発着回数、貨物量が今後どのくらい見込まれるか予測しました。その結果、現在の滑走路一本のままで、平成二十七年度頃には、旅

客数の増加に対応できなくなるおそれがあることがわかりました。

航空機の増便が困難となることから、便の予約が取りにくくなり、離陸時の待ち時間も長くなるなど、航空サービス全般の水準が現在よりも低下することが懸念されます。

ステップ1、2の調査について意見を募集した結果、延べ約千五百人の方からさまざまな意見をいただきました。それぞれのご意見やその対応については、県交通政策課ホームページでご覧になれます。

ステップ3の調査内容

今年度は、「滑走路増設を含む将来対応方策案の作成及び比較」などをとりまとめた「那覇空港の調査報告書3」について、皆さんのご意見を募集し、検討を進めます。

（調査内容）

ステップ3では、将来の需要の増加に対応するため、滑走路の処理容量を向上させる方策として、
○既存施設を一部改良することで処理容量を向上させる

「有効活用方策」

○滑走路を増設し、抜本的に処理容量を向上させる

「抜本的な空港能力向上方策」

○何も方策を講じない「施策なし」について、さまざまな視点から比較検討を行います。

なお、滑走路を増設する場合については、空港能力や利便性、事業規模、周辺への影響を考慮し、滑走路間隔が異なる三つの配置案を提示しています。

ご意見を募集します！

「那覇空港の調査報告書3」を配布し、ホームページにも掲載します。また、シンポジウムや説明会、パネル展なども開催します。
那覇空港の「これから」について、ご意見をお待ちしています。

●配布場所

県交通政策課、
県行政情報センター、那覇空港、
沖縄都市モノレール各駅等

意見募集期間

平成十九年八月二十九日～
十月二十八日

◆説明会・シンポジウム日程◆

説明会	9月14日(金) 14時～ おきでんふれあいホール	10月16日(火) 14時～ 沖縄市民会館
	10月10日(水) 14時～ 糸満農村環境改善センター	10月17日(水) 18時30分～ おきでんふれあいホール
	10月11日(木) 14時～ 豊見城市中央公民館	

シンポジウム
10月 6日(土) 14時～ おきでんふれあいホール

那覇空港の総合的な調査

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.pref.okinawa.jp/koutsuu/nahakuukou/>

お問い合わせ ● 県交通政策課 TEL:098-866-2045 FAX:098-866-2448